

令和5年度 自己評価書

学校名	北海道苫小牧総合経済高等学校
-----	----------------

1 本年度の重点目標

1 学習意欲とコミュニケーション力を高める教育活動の推進 2 課題解決に向けた職員間での対話の充実、生徒との信頼関係の構築
--

2 自己評価結果

評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策	
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程の状況	・習得した知識等はシラバスで示した目標に照らし十分であり、生徒の内発的動機付けに工夫を凝らした授業と学習評価への取組を行っている。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が50%であった。)	C	B	・生徒の内発的動機付けに工夫を凝らした授業と学習評価となるよう校内研修の機会を設け、研鑽を図る。
	各教科の状況	・各教科の基礎・基本を明確化し、目標に応じた指導が行われた。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が80%以上であった。)	A	A	
		・積極的に授業においてICTを活用した。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が60%以上であった。)	B	B	
生徒指導	生徒指導の状況	・未然防止、早期発見に向け、生徒情報の把握、提供、共有に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が80%以上であった。) ・授業をはじめ、特別活動や部活動等とおして、積極的に生徒に声掛けに取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が90%以上であった。)	A	A	・基本的生活習慣の確立と安全教育の充実を図る。 ・教職員の共通理解、共通実践による生徒指導の充実を図る。 ・日常の取組の中で生徒、保護者との信頼関係が構築できるよう、定期的な面談を実施する。 ・より組織的な教育相談の充実を図る。
	人格的発達のための指導状況	・指導内容を共有し、保護者や関係機関等と連携しながら差のない指導に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が60%以上であった。)	B	B	
進路指導	就職・進学指導の状況	・生涯に渡って学ぶ意欲や働く意味について理解を深める教育活動の実践に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が40%以上であった。) ・各種検査の活用や講演会、面談等を通して適性を見極め、効果的な指導に取り組んだ(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が50%以上であった。)	C	C	・進路シラバスに基づき、進路指導部と学年との連携を密にし、3年間を見据えた系統立てたキャリア教育の推進を図る。 ・進路指導部、家庭や関係団体等との連携を深めながら組織的な進路指導の充実を図る。
	地域・企業との連携状況	・進路指導部、家庭や関係団体等との連携を深めながら組織的な進路指導を実現することができた。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が40%以上であった。)	C	C	

その他

健康・安全指導	健康指導	・生命尊重や健康・安全に対する習慣と態度を高めさせる指導に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が80%以上であった。) ・講演、訓練、特別活動等を通して、意識を高める指導に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が70%以上であった。)	A	A	・「保健だより」による啓蒙活動の継続と外部講師等の招聘による生徒への働きかけを充実させる。 ・心の相談委員会の充実 ・教育相談体制の確立を図る。 更なる生徒理解のため、日常的な相談体制の充実。
	心の病気への対応	・教育相談体制の充実を図りながら、健康意識を高めさせる指導に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が約70%であった。)	B	B	
学校運営	信頼される学校づくり	・共通理解のもと、目標達成に向けた教育活動を実践した。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が約80%であった。) ・学校ウェブや通信等を活用し、苦総経のファン増加に繋がる情報発信に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が50%以上であった。) ・評価から授業や業務等の改善に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が60%以上であった。)	B	B	・生徒の学習内容や活動等の積極的な情報の発信の強化を図る。
	組織運営	・経営方針等を理解し、課題解決に向け職員間での対話の質と量の両方を高めることができた。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が50%以上であった。) ・ICT活用によるペーパーレス化やデータの情報共有等、電子情報の管理を徹底に取り組んだ。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が70%以上であった。) ・各種規程等の見直しを継続して推進した。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が50%であった。)	C	B	・経営方針等を踏まえ、課題解決に向け職員間での対話の質と量の両方を高めることができるよう校内研修等の充実を図る。 ・各種規程等の積極的な見直しを推進する。
	教職員の資質向上	・服務規律、危機管理を意識し校務に当たった。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が90%以上であった。) ・学校職員評価制度を有効活用し、自己目標の達成に結び付けた。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が約50%であった。) ・教職としての知識技能を求め、実践を積み重ねながら教育活動の充実に生かした。(学校評価アンケートで肯定的な評価の結果が80%以上であった。)	B	B	・緊急時の対応について、マニュアルの再確認、校内研修による知識技術の習得を図る。 ・引き続き、北海道アクションプランに沿った取組の推進を図る。

次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

・指導内容やねらいを明確化し、目標に応じた指導の確立。 ・課題設定や整理分析、まとめなどの学習活動の実践。 ・適切な目標設定のサポートや自己決定の機会の提供、結果に対する責任の取り方等の指導の確立 ・授業及び面談等を通して生徒を見極め、多様な進路情報の提供とアドバイスの推進 ・共通理解のもと、目標の実現に向けた教育活動の実践 ・学校ウェブ等を活用した情報発信及び外部関係機関との連携と実践 ・課題解決に向け職員間での対話量を高めながら、他分掌等、学校運営に関わる業務内容の理解の深化。
